

《報告3》 阪急バス豊能町内路線の再編と社会実験への影響について

【1】 背景

阪急バス

利用者減による収支の悪化が続いていることから、不採算路線について、便数調整等の経営の合理化を検討。豊能町内においても全路線で不採算路線となっていることから検討の対象とする。

豊能町

巡回バス見直しの際、パブリックコメントを実施したが、その中で西地区内のコミュニティバスの存続や検討という意見が多かったため、社会実験を通じて検討していくこととしていた。しかし、平成23年3月議会で平成23年度予算付帯決議がなされ、早期に検討・実施する必要性が生じた。

【2】 阪急バス町内路線再編の主な内容

東地区…東地区運行系統図（再編後）参照

- ①東能勢線の一部路線変更（余野-牧間の運行の約半数を余野-希望ヶ丘とする）
- ②東能勢線の箕面森町線接続（中止々呂美での乗り継ぎを可能とする）
- ③北大阪ネオポリス線余野-希望ヶ丘間の便数調整（①による輸送力の調整）

西地区…西地区運行系統図（再編後）参照

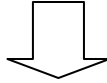
- ①東ときわ台線と新光風台線の統合（ラッシュ時は現行の東ときわ台⇄妙見口駅も運行）
- ②西地区統合路線の箕面森町乗り入れ

⇒西地区路線については統合路線実現と便数確保のため阪急バスに補助金を交付する予定

【3】社会実験運行（東西バス）への影響

当初

東西間移動の確保策として、東西を結ぶバスを運行し、途中箕面森町に停車することで利用者利便の確保と収支の向上を図る



再編後

東西各地区路線と箕面森町線の接続により競合が生じ、地域全体として、効率的な公共交通とはならない

- 競合が生じ、東西バスの箕面森町停車による乗客の確保は困難に
- 東西バスの運賃やダイヤ等の見直しによる収支率の向上が困難に
- 箕面森町線の利用による利便の向上は町内路線の再編により達成



社会実験計画の変更が必要

- 早期に分科会において検討し、会議に報告
- 社会実験運行の変更や社会実験のスケジュール変更等を検討
- 阪急バス西地区路線への補助金投入について、今後策定する交通計画との関係を検討

東地区運行系統図（再編後）

①【東能勢線】牧⇔池田
減便（半減）

①【東能勢線】希望ヶ丘⇔池田
増便

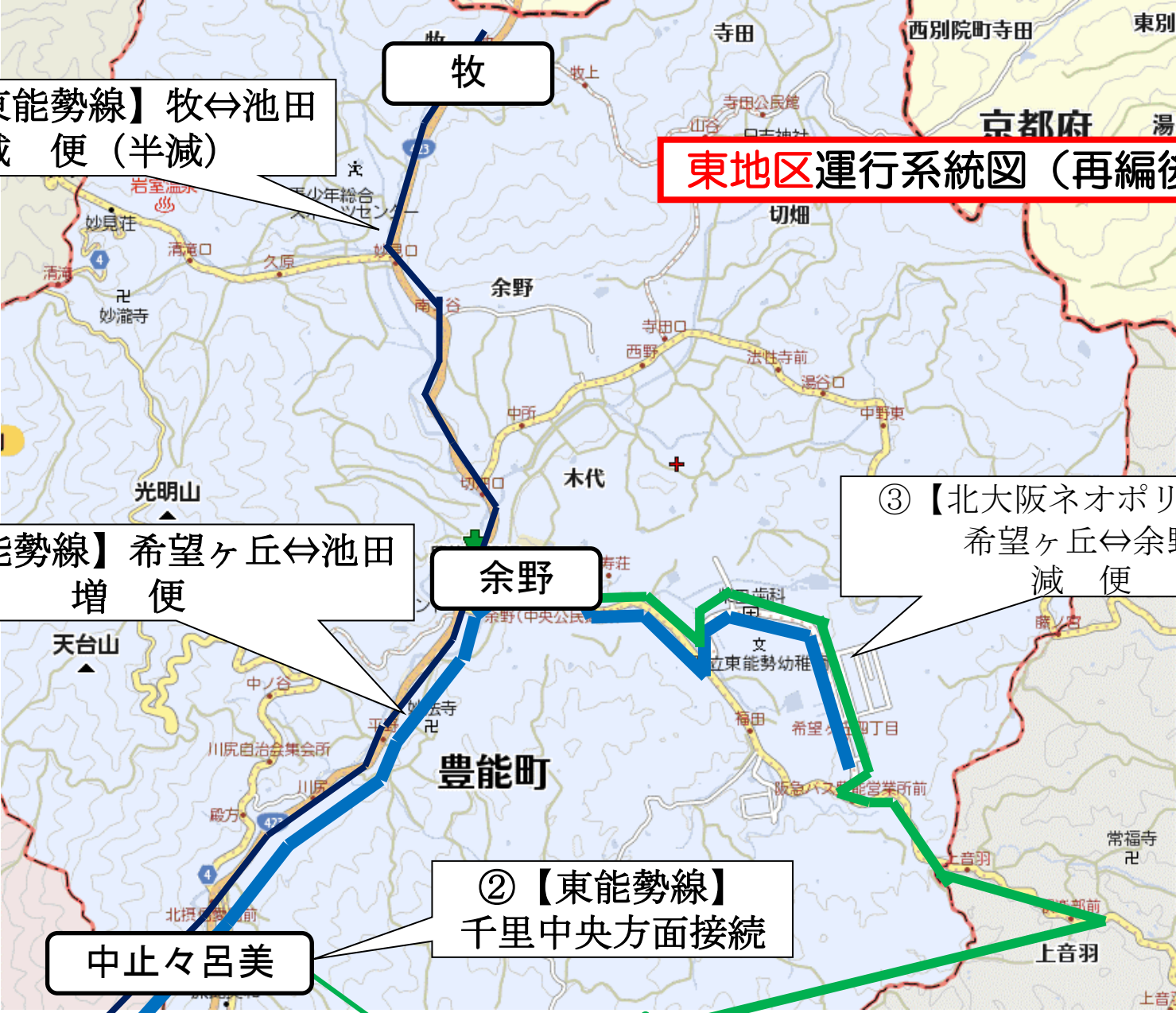
③【北大阪ネオポリス線】
希望ヶ丘⇔余野
減便

②【東能勢線】
千里中央方面接続

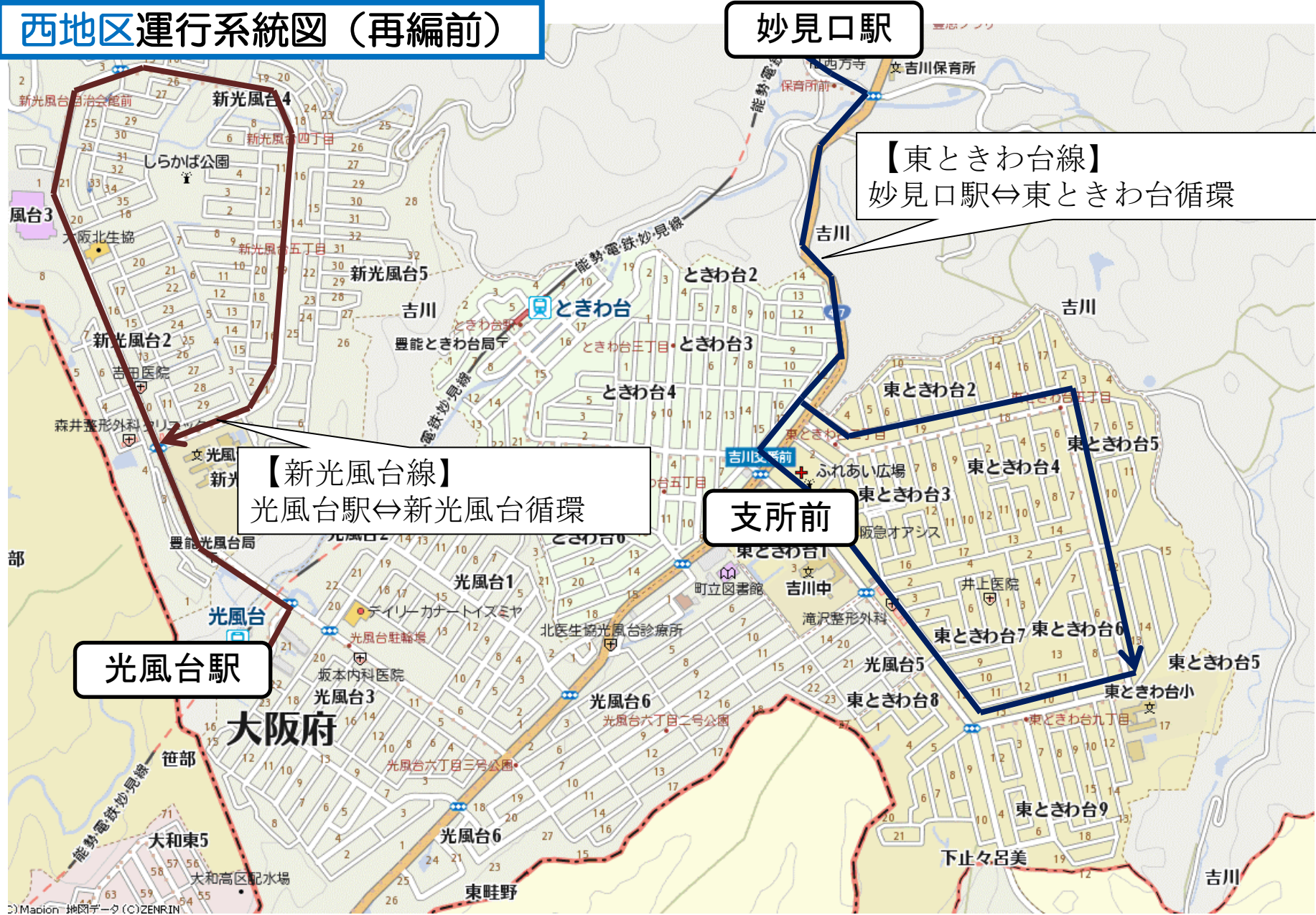
中止々呂美

池田

千里中央



西地区運行系統図（再編前）



妙見口駅

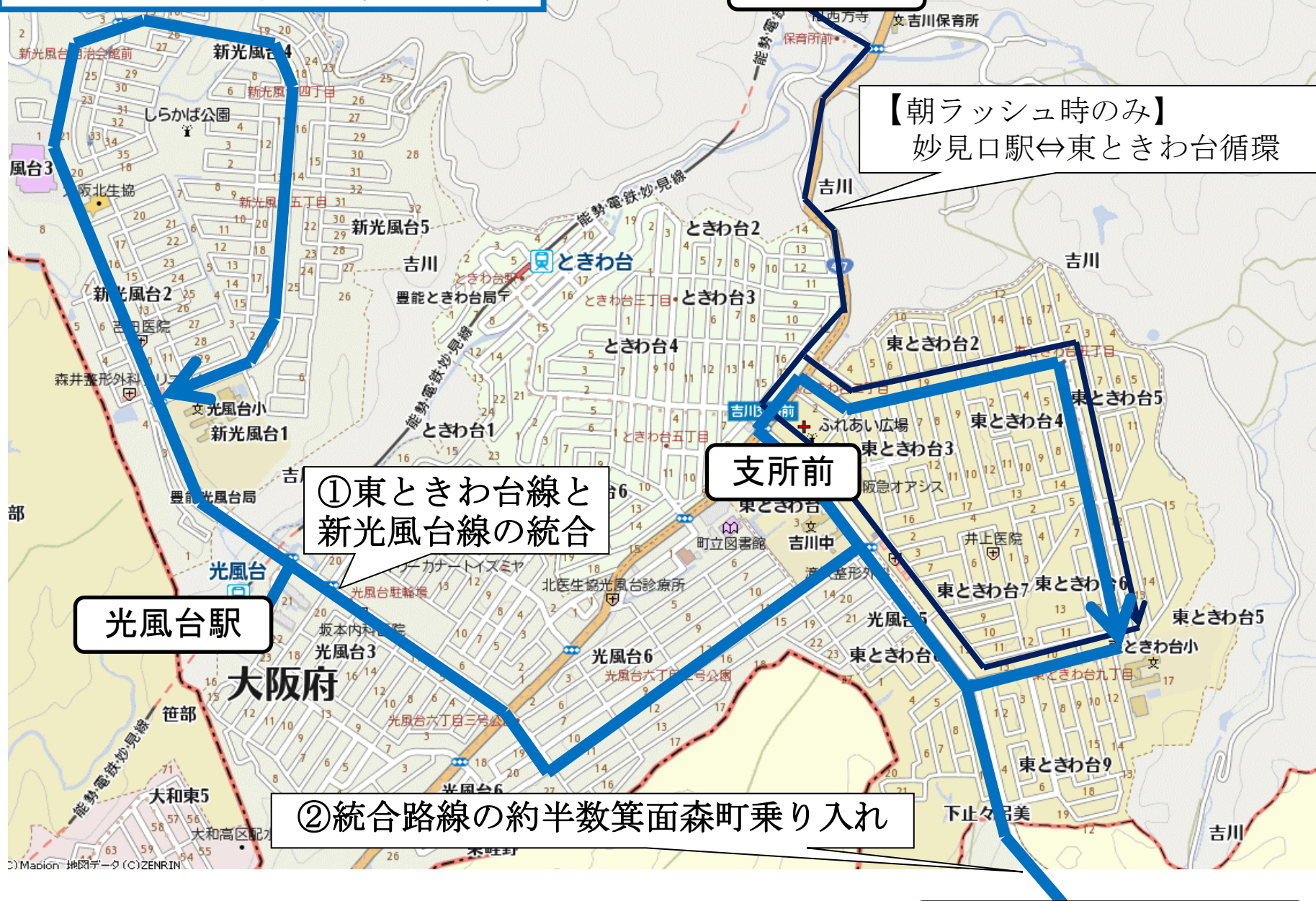
【東ときわ台線】
妙見口駅⇔東ときわ台循環

【新光風台線】
光風台駅⇔新光風台循環

光風台駅

支所前

西地区運行系統図 (再編後)



阪急バス路線再編と社会実験運行(東西バス)路線図

